

One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪
維新 ISHINTIMES
新タイムズ Vol.3
2013年度

編集・発行=大阪維新の会大阪府議会議員団

<http://osaka-ishin.jp/>

〒540-8570

大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)

TEL(06)6946-5390

FAX(06)6946-5391

大阪維新の会 大阪府議会議員

ながふじ ひでき

永藤英機の府政報告



昭和51年7月13日生まれ(37歳)。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。47都道府県訪問、世界一周を通じて大阪と国内外の都市を比較、大阪の可能性に自信を持つ。3年越しの想いが叶い2011年4月、大阪府議会議員に初当選(堺市堺区選出)。

9月25日から10月25日まで、大阪府議会の平成25年9月定例会(前半)が開催されました。永藤英機(大阪維新の会府議団・教育部会長)は10月15日及び10月21日の教育常任委員会にて松井知事、中原教育長並びに教育行政担当者と議論を行いました。その質問内容と答弁の一部をご紹介します。

英語教育のこれまでの成果と今後の対応

永藤議員

大阪府では「使える英語プロジェクト事業」として、府立の高等学校24校をEnglish Frontier High schoolsに指定している。3年計画でまだあと一年を残しているとはいえ、目標に届いていない学校が多く、中には遠く及ばない学校も多くみられる。その原因をどのように考えているのか、また今後の対応はどのようなのか。

高等学校課長

「使える英語プロジェクト事業」では、各校で外国人講師やICT等の有効活用を工夫しながら、授業を変える取組みを行ってきた。目標については各学校が英検合格者数やTOEFL iBT受験者の得点等の数値目標を立てたものであり、取り組んだ結果については、平成24年度末時点で目標を達成している学校は1校という結果である。事業開始当初に、各学校から出された数値目標の実現への可能性について、妥当性があるかどうかの精査が十分ではなかったと考える。最終的な評価は今年度末に行うため、現在の進捗状況を確認しながら、少しでも目標に近づけるよう全力で取組みを進めていく。

世界で活躍できるグローバル人材の育成

永藤議員

外国人と意見のやり取りをする上では、自分が生まれ育った国に対する知識や認識も欠かせない。世界に羽ばたくグローバル人材の育成という観点で、日本の歴史・伝統・文化などの教育も、これまで以上に力を入れて行うべきではないか。

中原教育長

海外の生徒や人々と触れ合うことによって、自身の日本への理解不足を感じ、歴史・伝統・文化への勉強の強い意欲が出てくると考える。歴史・伝統・文化に対する教育を強めると同時に、世界の人々や文化と触れる機会を持たせ、相乗効果が出るように教育方針を作っていく。

永藤議員

世界で戦うことができる人材としては、英語力は基本として自分の思いや意見を相手に的確に伝える力が必要。外国人の多様な価値観を理解し、積極的に意見を交わし、論理的思考に基づいてディスカッションするなど、これまで日本人が苦手とされてきた技能に対する教育も避けては通れないと考えるがどうか。

中原教育長

外国大学の採用担当と話をしたところ、日本人の若者には大きな弱点があるという。それは英語でディスカッションができないこと。ここに文系教育の弱点が露呈しているのではないかと考える。しかし日本人も場数を踏めば正しい議論ができるようになるかと信じている。幼少の頃から自分の意見をきちんと伝える、意見が違ふからといって人格を否定しないような教育方針を固めていきたい。また、高校入試の中でも暗記に頼ることなく論理的な思考を文章にして、自分の言葉で意見をまとめる問題の割合を増やしていきたい。

※その他、大阪府立高校の入試制度、堺市立高校をはじめ府下の市立高校のあるべき姿についても質問を行いました。

教育常任委員会での質問と答弁の全内容が大阪府議会のホームページよりご覧になれます。
<http://www.gikai-web.jp/dvl-osakahu>
(平成25年 教育常任委員会 10月15日、21日)



大阪府立大学の入試における英語改革

永藤議員

平成29年度から府立高校の入学選抜学力試験において、外部の英語資格や検定を活用する方針が発表された。この取り組みは中学生の英語力を伸ばす目標にもなると考える。一方で、高校入学時の指標だけではなく、継続して英語力を身につけておかなければ社会に出たときに使いこなすことはできない。大阪府の英語教育の一貫性を目指す意味を込めて、大阪府立大学の入試に際してもTOEFL iBTなど外部検定のスコアを活用することを検討してはどうか。

中原教育長

可能であれば、個人的な意見としてはどんどん活用していただきたい。

松井知事

TOEFL iBTなど外部検定の活用は、グローバル人材の育成に重要な手法と考える。しかし入試制度は大学教育に密接に関わり受験生への影響も大きいことから、府立大学において十分検討していただきたいと考えている。



■府政に関するご相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

〒590-0971

堺市堺区栄橋町1-7-3 栄橋ビル4階

TEL(072)228-3331 FAX(072)344-5676

E-Mail: info@nagafujihideki.com

<http://nagafujihideki.com>

永藤英機事務所まで

「永藤英機公式ブログ」にて日々の活動のご報告をしています。(インターネットで「永藤」と検索してください)

<http://ameblo.jp/nagafujihideki>